

保健体育科学習指導案

指導教官.....先生

学籍番号 実習者氏名

1、日 時 2024年 6月 11日 火曜日 2校時

2、場 所 体育館

3、学年・組 3年5・6組女子

4、単元名 E 球技、バレーボール

5、單元目標

(1) 知識・技能

- 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。

(2) 思考力・判断力・表現力

- 攻防などの自分やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自分や仲間の考えたことを他者に伝えること。

(3) 学びに向かう力・人間性等

- 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとすること。
- 一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。

6、指導にあたって

(1) 教材について

バレーボールは、球技の『ネット型』を素材として、ネットを挟んだ2チームがボールを繋ぎながら攻防する競技である。『バレー (volley)』には、「空中にあるボールを落とさずに弾く」という意味があり、バレーボールには「ボールを落とさないように繋ぐ」という固有のおもしろさがある。ボールを持つことが許されていないため、一瞬のボールの扱い方やボールに触れていない時間の動き、また仲間との連携を上手く行うことができるかが非常に重要となる。本単元では、三段攻撃でラリーを続けることを最終目標に、オーバーハンドパス、アンダーハンドパスの他にスパイクの練習も行ふ。ゲームの際は、セッターを固定して2本目に触る人を決めることで、三段攻撃に繋げやすくする。また、三段攻撃が成功させると点数を2倍というルールを付けることで三段攻撃を意識させたゲームが展開できることが期待できる。

(2) 生徒の実態

本単元は、3年生が対象であり1年生の時にもバレーボールを経験しているため、基本的なパスの練習や基本的なルールは理解している生徒が多い。また、経験者やバレーボール部に所属している生徒も数人いるため生徒同士でのアドバイスや、練習やゲームの進行はスムーズに行える。比較的、賑やかなクラスではあるが、全員が率先して前に出られるわけではなく、さらに経験者と初心者での差が出やすい競技のため、得意な生徒だけがボールに触り、ボールをほとんど触らない生徒が出ることがないように注意を払うことが必要である。また、チームで話し合いの時間を設けるなどして仲間同士で協力して高め合うことのできる授業をめざす。

(3) 指導について

本単元では、三段攻撃でラリーを繋げることをめざす。前半の授業では、オーバーハンドパスとアンダーハンドパスの基本的なパスの練習を繰り返し行い、慣れてきたらスパイクの練習、①トス②スパイクの練習、①レシーブ②トス③スパイクの練習というように徐々に、三段攻撃に繋がる練習を行う。オーバーハンドパスは、ボールの真下に入って手で三角形を作り、おでこの前でボールに触ることを意識させる。また、アンダーハンドパスは、手を組み、肘を伸ばしておへその前でボールに触ること、相手につま先を向けることを意識させる。スパイクや三段攻撃の練習の際、セッターは経験者などの得意な生徒が行うように指示し、ボールを繋げて攻撃する楽しさを味わわせたい。

7、指導計画 全 9 時間中 7 時間目

時間	1	2	3	4	5	6	⑦	8	9
0分	ネット設営・整列・挨拶・準備運動								
15分	オリエンテーション	基本動作（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス）	2人組パス、レシーブからの三段攻撃	3:3		アンダーサーブ、フロッターサーブ	三段攻撃 6:6	サーブテスト 6:6	6:6
40分	整列・振り返り・挨拶								
50分									

8、本時の目標

(1) 知識及び技能

- ・オーバーハンドパスとアンダーパスを基本として、ゲームの中で三段攻撃を展開することができる。

(2) 思考力、判断力、表現力

- ・三段攻撃を展開するために、自分の役割を理解し、どう動くべきか判断でき、それを仲間と共有できる。

(3) 態度（学びに向かう力など）

- ・ゲームの中で三段攻撃を展開するために、チームで話し合い、協力することができる。

9、本時の展開

（準備物：ボール×10、ネット（2m）、アンテナ、ホワイトボード、得点板、笛）

	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 (15分)	○ネット設置	・安全面に注意して、ボールは2人で持つようにさせる。 ・通常コート2面。 ・高さは2m。	・安全に注意しながら協力して、ネットの設置ができているか。 【知識・技能】【態度】
	○整列	・4列横隊で並ばせる。	・素早く整列できているか。【態度】
	○挨拶	・服装確認 (シャツIN、靴紐)	
	○点呼	・目を合わせて元気に返事をさせる。忘れ物や見学の報告もこの時にさせる。	・服装を整えて元気に挨拶できているか。 【態度】
	○準備運動 ・ラシニング2周 ・香里丘体操 ・補強運動 (腕立て、腹筋、背筋、バーピージャンプ、各15回)		

展開	○本時の流れ説明 (9:55)	① パス ・ボール投げ (左右、両手、ワンパン) ・2人組パス (オーバー、アンダー) ② 三段攻撃の練習 ・練習前に説明する。 ③ ゲーム	
	○パス (9:58)	・前後ペアでさせる。 ・左右、両手、ワンパン (×2) ・オーバー、アンダー (1分ずつ)	・オーバーのポイント (手は△でおでこの前、ボールの真下に入る)ができているか。 ・アンダーのポイント (おへその前で取る、肘を伸ばす、つま先を上げる人の方へ向ける)ができているか。 【知識・技能】 ・三段攻撃とは何か理解できているか。 【知識・技能】 ・チーム内で協力して練習に取り組んでいるか。【態度】
展開	○三段攻撃練習 Q三段攻撃とは何？ A三段攻撃とは、①レシーブ②トス③スパイクの3回で攻撃すること。 説明(3分)	【練習方法】 ・チーム内でセッターを決める。(固定) ① セッターがレシーバーにボールを投げる ② レシーバーはセッターに返球する。 (オーバーの方が安定しやすい)	・三段攻撃を成功させるためにどのように動くことが必要か考え、チャレンジすることができているか。 【思考力・判断力・表現力】【態度】

	③ セッターはトスを上げる。 ④ スパイクを打つ。 ⑤ ボール拾いにまわって次の人がスパイクしたボールを拾って列に並ぶ。 ・①～⑤を繰り返す。 ・2面で行い、1コートを2チームが使う。	
● セッター ○ レシーパー ○ スパイカー		
(10:10)		

展	○ゲーム ・7対7 (セッター固定) で行う。説明 (3分)。 【図1】	・一度ホワイトボードの前に集合させて、説明する。 ・列ごとに1チーム8~10人の4チーム作る。 ・セッターを決める。 ・コートには7人ずつ入り、セッター以外の6人はローテーションする。 ・2面コートを使う。	・ホワイトボードに注目して話を聞くことができるかどうか。 【態度】
	【図2】	・サーブ権が自分のチームに来るごとにひとつローテーションする。 ・A→B→C→D→E→Fの順にローテーションし、Fまで行ったら外に出てAの位置に外の人が入る。 ・三段攻撃を意識させるためのルールを作る。 【ルール】 ・サーブはBの位置から誰に投げるか伝えた上で、下投げ。 ・サーブ権は得点がどちらに入っても1回ずつ交代する。 ・三段攻撃 (①②③のリズムでスパイクを打つ) が決まれば2点。その他は1点ずつ。 ・チーム内で、「1、2、3」の掛け声をする。 ・三段攻撃に繋がると三段攻撃に繋がりがやすい。 ・巡回しながらルールやポイントについての声掛けをする。	・①レシーブ②トス③スパイクの三段攻撃ができているか。 【知識・技能】 ・チーム内で「1、2、3」の声掛けができているか。 【態度】 ・三段攻撃につながれるよう、仲間と話し合い、工夫できているか。 【思考力・判断力・表現力】
開 (28分)	(10:23)		

ま と め (2 分)	○整列	・ボールをかごに戻し て、4列横隊に整列させ る。	
	○怪我人・体調不良者の確認		
	○本時の振り返り	・ゲーム内で三段攻撃が できていたか振り返り 次回に向けてのアドバイ スをする。	
	○挨拶 (10:25)	・服装と姿勢を整えて元 気よく挨拶させる。	

※ 別添 指導資料 学習ノート 板書計画 等

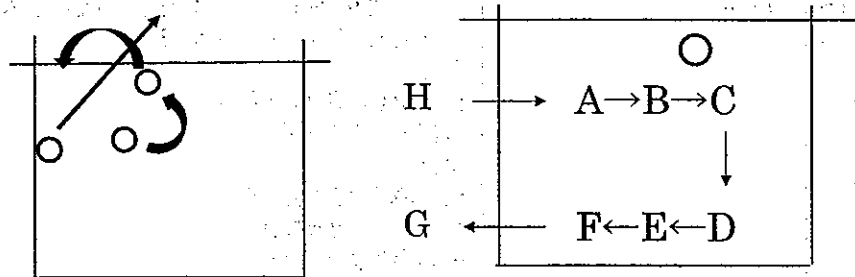
今日の課題：三段攻撃を展開しよう

【ゲーム】

三段攻撃とは、

- ① レシーブ ② トス ③ スパイク
の3回で攻撃すること

- ・7:7(セッター固定)
- ・サーブ権は1点ずつ交互に
- ・サーブ権が来たらローテーション
- ・三段攻撃で点数が入れば2点



保健体育科学習指導案

指導教員.....先生
学籍番号.....実習者氏名.....

1、日 時 2024 年 6 月 11 日 火曜日 4 校時

2、場 所 1 年 7 組 教室

3、学年・組 1 年 7 組

4、単元名 感染症の予防

5、単元目標

(1) 知識及び技能

感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解できるようにする。感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であることを理解できるようにする。

(2) 思考力、判断力、表現力

現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用すること。

(3) 態度（学びに向かう力など）

生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

6、指導にあたって

(1) 教材について

感染症の予防には、①感染源対策②感染経路対策③感受性者対策の三原則に即した対策が必要である。具体的には、個人の取組（手洗い・うがい、消毒、咳エチケットなど）や社会全体での取組（臨時休業、予防接種、調査・研究など）を行うことが必要である。本単元では、これらについて理解し、自らの行動を見直すことで、感染症の予防とまん延防止に取り組む力を身に付けることをめざす。

(2) 生徒の実態

本単元は、1年生を対象に行う。1年生は4月に入学したばかりで、緊張感もあり、個人の意見を積極的に全体で発表することはためらう生徒も多いと考えられる。また、比較のおとなしいクラスのため、1人で答える発問よりもグループで考えさせる活動と、自分の意見と他人の意見を交換する機会を増やす。また、グループ活動の際は、グループメンバーを指定することでグループに入れない生徒がいないようにする。机間指導の中で全員が参加できているかを確認しながら、助言やサポートをすることで生徒の学習意欲を高めたい。

(3) 指導について

本単元では、感染症予防の三原則について理解し、感染症を予防するために必要な個人・社会全体での対策は何か考えさせることをめざす。新型コロナウイルス感染者を主人公とした映画の予告の視聴や、これまでの経験から感染症予防に必要なことは何か具体的に考えさせる。また、感染症に対する誤った情報や過剰な反応により、人権問題に発展する可能性があることを理解し、正しい知識を持ち、適切な情報収集が必要であることを理解させたい。これらの知識から、今後の生活に活かす方法を考えさせる。グループ活動を取り入れることで、他者との意見交換の機会を作り、より深い学び・考えになることを期待する。

8、本時の目標

(1) 知識及び技能

- 感染症予防の三原則を理解できるようにする。
- 感染症予防のためには、個人の取組、社会全体での取組を行う必要があることを理解できるようにする。

(2) 思考力、判断力、表現力

- 感染症予防の三原則を理解し、個人・社会全体で行うべき取組は何か考えることができるようにする。
- 感染症の流行時に飛び交う様々な情報から、正しい知識を持って適切な情報を選択できるようにする。
- 感染症予防のための取組について、自分・他者の意見を伝え合うことができるようにする。

(3) 態度（学びに向かう力など）

- 感染症予防について、自分事として捉えて自分にできる取組について考え、伝えることができるようにする。
- グループ活動に積極的に参加し、他者と交流することで考えを深めることができるようにする。

9、本時の展開

(準備物：教科書、ノート、イメージマップ、クロームブック、PP資料、動画資料)

	学習活動	指導上の留意点	評価
導 入 (8分)	○挨拶 →元気よく、姿勢を正して挨拶	・服装チェック	
	○出欠・忘れ物確認 (座席表と見比べて確認する。空いている席は生徒に欠席かどうか確認する。忘れ物をした人は自己申告する。)	・教科書、ノートを机の上に 出させる。	・欠席者、遅刻者、忘れ物
	○前回の振り返り	【PP②-④】 ・前回は、新興・再興感染症 と新たな課題について学習した。	
	○本時の課題	【PP⑤】	
・感染症予防の三原則を理解しよう ・感染症を予防するために必要な個人・社会全体の取り組みについて理解しよう			
	○本時の流れ	【PP⑥】 ① 感染症予防の三原則 ② 個人・社会全体での取り組み(グループ活動) ③ まとめ	
	○感染症予防についての意識確認 Q. 感染症の予防として、皆さんが 気を付けていることは? (11:48)	【PP⑦】 ・自分の行動を見直すことで 本時の授業に関心を持たせる。 《予想される反応》 ・マスク ・手洗いがいい ・消毒 ・ソーシャルディスタンス ・検温	・自己の行動を振り返り、 発表できているか。 【思考力・判断力・表現力】

展 開 (29分)	○感染症予防の三原則 (3分) (11:51)	【PP⑧⑨】 ・感染症の三要素 説明 ① 感染源 病原体を含み、感染の原因となるもの ② 感染経路 病原体が新たな宿主に伝わる経路のこと ③ 感受性者 感染を受ける可能性のある人(免疫がない人) →これらについて対策することが感染症の予防 【PP⑩】	・集中して話を聞くことができるか。 【態度】
	【発問①】 感染症をするためにできる個人の取り組みは? (感染症予防の三原則から考える)		
展 開 (29分)	○動画視聴 ・どんな予防がされているか、どんな対策をしていたら感染拡大を抑えられるか、に注目してみる。 映画「コロナウイルス-感染者:1」 予告編(3分) (11:54)	【PP⑩⑪】	
	○感染症を予防するための取り組み (前回と同じグループで活動) →前回のイメージマップ配布 →机を班の形にする →ノートp.12③に記入 活動(5分) (11:59)	【PP⑬】 ・感染源、感染経路、感受性者、それぞれの対策について考える。 ・感染症予防三原則、視聴した動画、イメージマップ、音段から自分が行っていることなどから考えさせる。 ・机間指導	・感染症予防の三原則を理解できているか。 【知識・技能】 ・自己にできる感染症予防について考えられているか。 【思考力・判断力・表現力】 ・積極的にグループワークに参加しているか。 【態度】 ・他者の意見から考えを深められているか。 【学びに向かう力】

→各班発表 (その場で発表) →自分の班になかった意見も記入 ...(7分)... ...(12:06)...	・発表された意見に補足説明 ・発表された意見を板書 《予想される反応》 ① 感染源 ・消毒 ・感染者の排泄物、血液、分泌液などに素手で触らない ② 感染経路 ・手洗いうがい ・マスク ・人混みを避ける ・換気 ③ 感受性者 ・予防接種を受ける ・食事や休養をしっかりと取る ・検温	
○予防接種について ...(5分)... ...(12:11)...	【PP④⑤】 ・感受性者とは、病原体に抵抗する力(免疫)が十分でない人のこと。 免疫には、 ① 自然免疫 生まれながらに備わっているもの ② 獲得免疫 生まれてから獲得するもの。特定の免疫を認識し、抗体を作成する... 予防接種は②になる... ・予防接種について説明 毒性を弱めたり無くしたりした病原体や毒素を前もって投与することで免疫を獲得し、感染症に罹りにくくしたり重症化しにくくする。 投与するものをワクチンという。	・予防接種の必要性について理解できているか... 【知識・技能】

	→集団の中で感染者が出て、も、予防接種を受けられない乳児や妊婦などへの感染を防ぐことにも繋がる。 ・ノート p.12②にまとめておくように指示する。 【PP⑥】	
【発問③】 感染予防のために必要な社会全体での取り組みは？		
○感染症予防のための社会全体での取り組みについて →グループ活動 →ノート p.12③に記入 ...(5分)... ...(12:16)...	・机間指導 ・動画からどんな対策、問題があるか考えさせる。 ・新型コロナウイルス感染症やインフルエンザが流行した時にどんな対応がされていたか思い出させる。 ・発表された意見を板書 ・補足説明 《予想される反応》 ・学級閉鎖など ・臨時休業 【PP⑦⑧】 ・学級閉鎖など ・臨時休業 ・検疫 →病原体の国内侵入を防ぐ ・常時監視 →どこでどのくらい流行しているか ・調査、研究 →今後の対策のため ・媒体動物の駆除 (昆虫やダニなどの病原体を運ぶ動物で、マラリアや日本脳炎は蚊が運んでくる) ・情報提供	・社会全体での取り組みについて考えられているか... 【思考力・判断力・表現力】 ・グループワークに積極的に参加しているか... 【態度】 ・他者の意見から考えを深められているか... 【学びに向かう力】

	○正しい情報を得る (3分) (12:27)	【PP②③】 ・SNSの発展により、すぐに情報を得ることができる。 一方で、誰でも情報を発信できるため誤った情報も溢れている。 →動画にもあったように、感染者や濃厚接触者に対する誹謗中傷や差別が起き、人権問題に発展する可能性もある。 →正しい知識から適切な情報を選択することが大切。	・自分事として捉えることができるか。 【学びに向かう力】
ま と め (3分)	○本時の振り返り ○挨拶 (12:30)	【PP④】 ・感染症予防の三原則 ・個人でできる取り組み ・情報収集	・感染症予防の三原則について理解できているか。 【知識・技能】

※ 別添 指導資料 学習ノート 板書計画 等

・映画「コロナウイルス-感染者-」予告 (https://youtu.be/MdV2IhqkNkc?si=5Zbg9-GHDD6ZW_si)

・板書計画

パワーポイント資料

Q. 個人の取り組み

感染源	感染経路	感受性者
・	・	・
・	・	・
・	・	・

Q. 社会全体での取り組み

・	・	・
・	・	・
・	・	・